



2012年2月期(第30期) 通期決算説明会

ソーバル株式会社

大阪証券取引所(JASDAQ市場)

証券番号:2186

平成24年4月18日

代表取締役社長

推津 順一

総スライド数:15ページ

1. 2012年2月期の概要

1-1. 総括

1-2. 業績ハイライト

1-3. 財政状態、キャッシュフロー

1-4. 営業利益増減分析

1-5. 売上構成比（セグメント／主要顧客）

2. 2013年2月期の見通しと戦略

2-1. 見通しと業績予想

2-2. 配当予想

2-3. 中長期の戦略

2-4. 新規事業の取り組みについて

付録. 株主優待制度のご紹介

1. 2012年2月期 業績の概要

1-1. 総括

1-2. 業績ハイライト

1-3. 財政状態、キャッシュフロー

1-4. 営業利益の増減分析

1-5. 売上構成比（セグメント／主要顧客）

Point1 東日本大震災による影響軽微

Point2 業務系・Web系開発案件の新規受注増

Point3 新規事業の積極推進



適時開示 2012/03/29 16:00
業績予想の修正(上方修正)の発表

売上は僅少未達も利益は大幅増

1. 計画停電、サマータイム等の早期対応が奏功し、売上減は小幅
2. キヤノンG、ソニーGは順調、その他新規顧客受注増
3. RFIDは収益キープ、その他新規事業は継続投資

(百万円)

科目	2011年 2月期 通期 (個別)	2012年2月期(連結)					
		通期実績	対前期 増減率	通期 修正 予算	達成率	通期 期初 予算	達成率
売上高	5,852	6,126	4.7%	6,126	100%	6,255	 98%
営業利益	227	353	55.5%	353	100%	270	 130.7%
経常利益	239	357	49.4%	357	100%	270	 132.2%
当期純利益	124	182	46.8%	182	100%	163	 111.7%

売上高は期初予算に達せずも、利益は大幅増益。
2012年2月期より連結子会社となったコアードは予算通り。

※ 表は、2012年2月期(第30期)が連結、2011年2月期(第29期)が個別の数値です。
2012年2月期の[対前期増減率]は、業績推移状況をわかりやすくご説明するために、2012年2月期決算短信とは異なり、連結と個別の数値で比較しております。

財政状態

科目	2011年 2月期	2012年 2月期 2Q	2012年 2月期
総資産	2,472 百万円	2,513 百万円	2,624 百万円
純資産	1,887 百万円	1,947 百万円	2,026 百万円
自己資本 比率	76.4%	77.5%	77.2%
1株当たり 純資産	869.25 円 銭	896.55 円 銭	466.49* 円 銭

自己資本比率は、前事業年度末より
やや増加し、高い比率を維持。
1株当たり当期純利益も順調に推移。

* 平成23年11月1日付けで1株につき2株の株式分割を実施。
株式分割(1:2)のため、比較想定値は932円98銭。

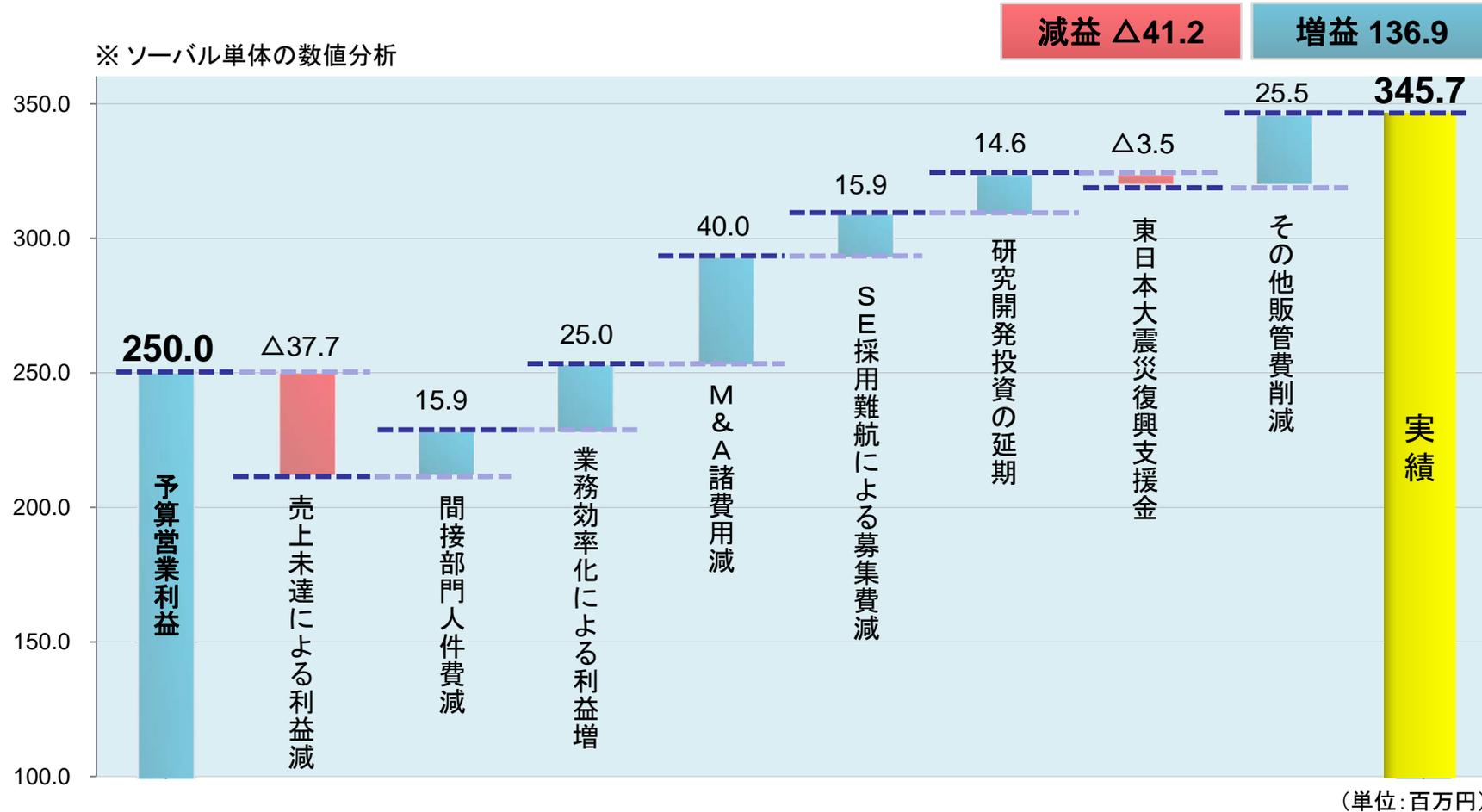
キャッシュフロー

(百万円)

科目	2011年 2月期	2012年 2月期 2Q	2012年 2月期
営業活動による CF	344	△58	114
投資活動による CF	△16	32	29
財務活動による CF	△15	△21	△43
期末残高	1,216	1,169	1,318

キャッシュフローは、営業活動CFが法人税等の支払265百万円の資金減少要因を税金等調整前当期純利益335百万円の資金増加要因が上回り、投資活動CFの子会社取得による収入61百万円も起因して、前事業年度末比102百万円の増加。

※ 2012年2月期(第30期)が連結、2011年2月期(第29期)が個別の数値



- 売り上げ減少による利益減
- M&Aの支払手数料等の諸費用減
- 人員配置見直しで研究開発費・間接部門費減



売上未達も
諸削減効果で
大幅増益

構成	2010年2月期	2011年2月期	2012年2月期
特定派遣	65.0%	62.5%	63.5%
業務請負	33.7%	36.2%	34.6%
その他事業 (RFID等)	1.3%	1.3%	1.9%

震災売上減対策により、特定派遣の割合が上昇。それに伴い、業務請負の比率減。

構成	2010年2月期	2011年2月期	2012年2月期
キヤノン株式会社	74.1%	76.2%	72.7%
キヤノングループ	1.9%	2.9%	3.1%
ソニー株式会社	14.1%	8.7%	6.6%
その他	9.9%	12.2%	17.6%

コアードの売上によりその他の割合が増加。キヤノン様の比率減少はその他の割合増加によるもので売上額は、ほぼ変わらず。

※ 2012年2月期(第30期)は連結、2010年2月期・2011年2月期は個別

2. 2013年2月期(第31期)の見通しと戦略

2-1. 見通しと業績予想

2-2. 配当予想

2-3. 中長期の戦略

2-4. 新規事業の取り組みについて

見通し

円高の長期化、エネルギー政策、欧州債務危機などの不透明感による景気下振れリスク

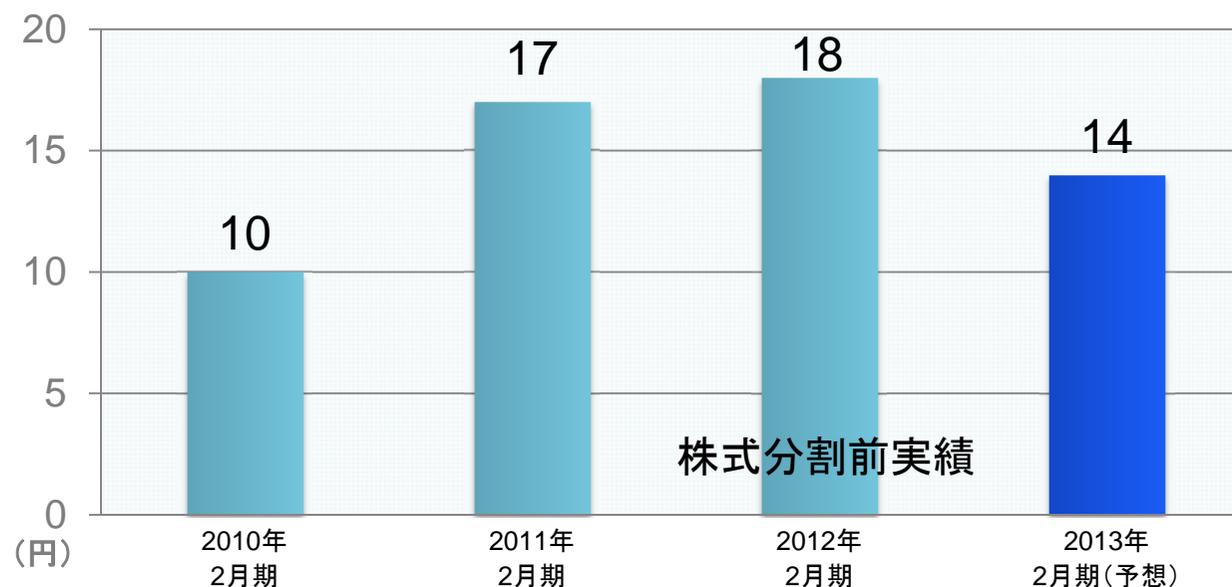
環境・ニーズ変化に柔軟かつ迅速対応できる体制の確立
+
M&A・人材採用を加速

業績予想



※ 2012年2月期(第30期)より連結のため、2010年2月期・2011年2月期は個別の数値

売上、利益ともに前期を上回る予想。



(基準日)	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2013年2月期(予想)	7円00銭	7円00銭	14円00銭	29.7%
2012年2月期	10円00銭	8円00銭	18円00銭	31.0%
2011年2月期	7円00銭	10円00銭	17円00銭	29.6%
2010年2月期	10円00銭	0円00銭	10円00銭	—%

配当性向約30%の水準を維持

※2011年11月1日付で1株につき2株の割合をもって株式を分割したため、2012年2月期第2四半期末以前の1株当たり配当金については、株式分割調整前の内容を記載しております。

Point1

人材育成・優秀人材採用の継続投資

Point2

販路拡大、人材獲得に向けたM&Aの実施

Point3

新規事業の積極推進と競争力強化

新規受注拡大に
向けた
PM・PLの
人材育成強化

+

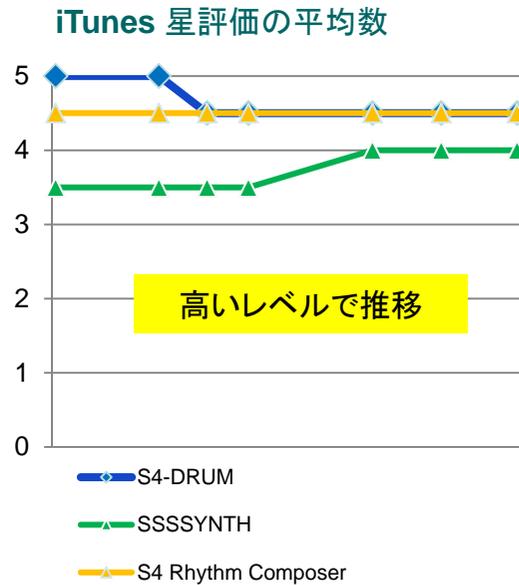
医療機器分野
などの
新規分野への
参入

+

ネットビジネスと
新規ビジネス
への
さらなる投資

労働集約型ビジネス強化と別収益の柱を確立

S4 APPs <http://www.sobal.co.jp/s4/>



Point
 海外市場のみで展開していたアプリは高評価。3月中旬より日本市場でも展開。スマートフォン市場の拡大に合わせて、今後も多数のアプリケーションを導入予定。

読書ログ <http://www.dokusho-log.com>



主な機能

- さがす機能 (ベストセラー／文学賞／ランキング／新刊からさがす 他)
- つながる機能 (公開本棚を見る／公開レビューを見る／Twitter連動 他)
- 会員用マイページ (マイ本棚／レビュー投稿／未読・既読管理 他)

Point
 機能拡張が進み、多彩な機能。会員数は2倍以上に増え、ページビューも含め、順調に推移。

対象

毎年8月31日(基準日)、当社株式を100株以上ご所有の株主様

優待内容

東北の名産品やお米など4種類のギフトの中から、ご希望のお品物をお選びいただけます。株主様のご意志、またはギフトのご指定がない場合は義援金として、当社より日本赤十字社へ寄付いたします。

2012年2月期の優待ギフト(2,000円相当、送料含)

1. 名産品



醤油とポン酢(2本)セット

2. お米



無農薬米コシヒカリ(2kg)

3. おまかせ



りんごジュース(10本)

4. 義援金



305,000円を
日本赤十字に寄付

実施回数・贈呈時期

年1回実施、毎年1月下旬頃、ギフトお届け

※応募方法やギフト配送業者、その他株主優待に関する詳しい情報は、当社ホームページをご覧ください。

役員、社員一同、一丸となって
企業価値向上に邁進してまいりますので、
引き続きご愛顧のほど
よろしくお願い申し上げます。